

ドリームカップ車両規定

1. 出場車両

車両は、エンジンを有するモーターサイクルで製造国についての制限はない。

2. 車両

- | | |
|----------------------|--|
| 1、スーパーエキスパートオープン | S0クラスで1分9秒（基準タイム）切るような早い人のクラス |
| 2、エキスパートオープン | S0クラスで1分12秒（基準タイム）切るような早い人のクラス |
| 3、スポーツオープンクラス | 排気量オープンの市販スポーツ車・レーサーベース車 |
| 4、スポーツシングル&ツインクラス | 参加台数によってはシングル・ツインを分け
※走行タイムによってはSO,EX,S-EXクラスに移動になります |
| 5、スーパースポーツ 400 | S400クラスで1分12秒（基準タイム）切るような早い人のクラス |
| 6、スポーツ 400 クラス | NK4,N400 等 400cc 以下の市販スポーツ車 |
| 7、スーパースポーツ 250 | S250クラスで1分12秒（基準タイム）切るような早い人のクラス |
| 8、スポーツ 250 クラス | 250cc クラスの市販スポーツ車 |
| 9、CBR250RR Dream Cup | CBR250RR のワンメークレース |
| 10、CBR250Dream Cup | CBR250R のワンメークレース |
| 11、S80 | 2st-85cc 以下・4st - 150 cc以下・改造・オープンクラス |

3. 総合仕様

車両は、安全のために次の各項のすべてを満たしていなければならない。

(1) ブレーキ

車両は前後輪にそれぞれ独立した有効なブレーキを備えなければならない。

(2) リムおよびホイール

最小リム直径 16 インチ～最大リム直径は 19 インチまでとする。

(3) ハンドルバー

- ① ハンドルの端から端までの幅は 450mm 以上でなければならない。
- ② ハンドルの回転角度は、左右それぞれ 20 度以上でなければならない。

(4) ハンドルバーのクリアランス

- ① グリップ部およびレバーとカウリングとのクリアランスは 20mm 以上あること。
- ② ハンドルを左右いっばいに切った時ライダーの指を挟まないように、ハンドルバーと燃料タンクとのクリアランスは 30mm 以上あること。

(5) スロットルコントロール

スロットルコントロールは手をはなすともどる方式でなければならない。

(6) クラッチおよびブレーキレバー

クラッチレバーおよびブレーキレバーの末端は、直径 19mm 以上の球状で容易に取れたり外れたりするものであってはならない。このボールを平たくすることも認められるが、いかなる場合においてもその端部に丸味を持たせることが必要である（この平たくした部分の厚みは少なくとも 14mm とする）。ピボット点からボールの端まで測った場合のコントロールレバーの長さは 200mm までとする。

(7) フットレストおよびペダル

- ① フットレストは、前後車軸の中心を通過する線の 100mm 上方より下側に、そして後輪の中心を通過する垂線の前側になるように取り付けられ、どのコントロールペダルも容易に操作できる位置になければならない。
- ② フットレストの先端は安全上半径 8mm 以上に丸められていなければならない。
- ③ ペダル類の先端は安全上丸められていなければならない。

(8) 排気系

排気はすべての車両の後方に排出されねばならず、排気管の端部は少なくとも 30mm の長さで、車両のセンター軸と水平かつ平行に近くなければならない。

また排気管は後輪再後端垂線より突き出してはならず、排気がほこりを立てるように排出されたり、タイヤやブレーキを汚したり、後続のライダーに迷惑を与えたりしないようにしなければならない。

(9) 音量規定

音量は FIM 方式による測定方法で、105db(A)以下とする。

(10) カウリング

カウリングを使用する場合は次の条件を満たすこと。

- ① タイヤを除く前輪は両側に明瞭に見えなければならない。
- ② カウリングの下端と地面とのクリアランスは 100mm 以上でなければならない。
- ③ 後方に面しているカウリングのいかなる部分も、その端部を少なくとも半径 3.5mm の丸状にしなければならない。後方に面しているウインドスクリーンの端部にはガードを施して切り傷を負う恐れのないようにしなければならない。
- ④ エアfoilまたはスポイラーは、それらがフェアリングまたはシートの不可欠部分である場合に限り、取り付けることができる。これらの装置の幅は、フェアリングの幅をオーバーしてはならず、また、その高さはハンドルの高さをオーバーしてはならない。ふちのとがった部分は少なくとも 8mm の丸味をもたせなければならない。
- ⑤ 上記の適用を避けるために透明な物質を使用することはできない。
- ⑥ 後輪の可視範囲
後輪のリムは後輪の垂直線の後部円周 180 度にわたって明瞭に見えなければならない。

(11) フェンダー

フロントフェンダーは取り付けなければならない。カウリング仕様の場合は取り外し可。

(12) オイル・ドレーン・プラグと供給パイプ

すべてのオイル・ドレーン・プラグは確実に締め、ボルトは安全のためにワイヤーロックをしなければならない。又、オイルフィルターもワイヤーロックしなければならない。

(13) 燃料、オイルフィルターキャップ

燃料、オイルフィルターキャップは、閉じた状態で漏れる恐れがあってはならない。さらに、いかなる場合においても誤って開くことのないように、完全にロックされていなければならない。

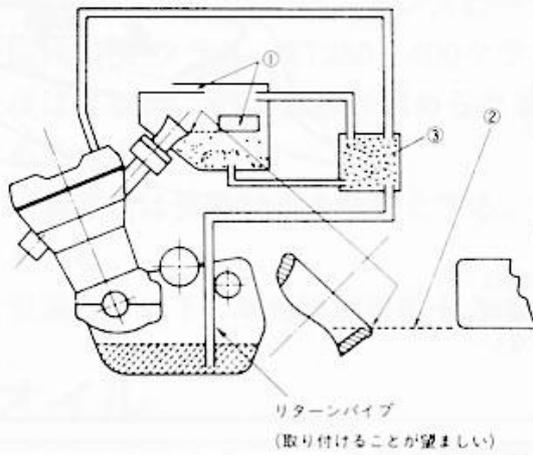
(15) オイルキャッチタンク

排気量より容量の多いオイルキャッチタンクを取り付けなければならない。

なお、転倒時に容易に脱落又は破損せず、高温にも耐えられる材質のもので、オイルがこぼれないように確実に取り付けなければならない。

また、スタート時には必ず空にしておかなければならない。

4ストロークエンジンのブリーザーシステム



クローズドシステム
エアクリーナーボックスが設置されていない場合、フローバイガスがキャブレターに投入されるような措置を施すこと。

③オイルキャッチタンク
最低容量500cc

リターンパイプ

(取り付けることが望ましい)

①+②

エア吸入口は、エアファンネルの一番低い箇所の水平線より上に位置すること。
吸入口がこれよりも下にある場合は吸入口に至る吸入通路の底部の少なくとも一部分が、水平線の上に位置すること。

①+③

ブリーザーシステム（エアクリーナーボックスおよびその他のオイルタンク）は、ドレーンパイプが詰まった場合に、合計で最低1,000ccの排出液を確保できる容量を持つこと。

※ノーマルエアクリーナーボックスを取り付けている場合は、上記オイルキャッチタンク（ブリーザーシステム）を省略できる。

(16) 燃料タンク

燃料は、車両にしっかりと固定されたタンク内に収めるものとする。

シート・タンク及び補助タンクの使用は禁止する。

(17) シリンダー

シリンダーのキャスト（鋳造）を変更することなくボアを拡大することができる。ただし、この拡大が当該車両本来の出場を認められるクラスの排気量の限度を超えないことを条件とする。

(18) 取り外さなければならないもの

荷台、公道用ナンバープレート、その他走行にあたり危険と思われる物。但し、ライト・バックミラー等、飛散防止の為にテーピングを行うこと。スタンド・キックアームは飛び出し防止の措置を行うこと。

(19) 取り付けなければならないもの

① ゼッケンプレート及びゼッケン

前面に一枚、左右側面に一枚ずつ取り付けること。ゼッケンプレート及びゼッケンの色は指定しないが、カッコ良く表示すること。

② リヤスプロケットガード

③ 以下の部品には、必ずワイヤーロックまたは、割りピン等のゆるみ止めすること。

○エンジンおよびミッションのドレーンボルト

○オイルフィルターキャップ

○オイルレベルゲージ

○オイルエレメント及び取り付けボルト・ナット

○アンダーカウル（エンジン破損時にオイルを受け止める構想になっていること）

(20) 車両の傾斜角

車両の傾斜角度は無負荷でタイヤを除きどの部分も接地することなく垂線に対して50°傾斜させることが可能でなければならない。

(21) 部品の再後端

いかなる部品も後輪再後端垂線より後に突き出していない。

(22) 使用禁止部品

- ① すべての過給装置の使用。
- ② フレーム、フロントフォーク、スイングアーム、ハンドルバー、ホイールスピンドルにチタニウム素材の合金等の使用。
- ③ ホイールスピンドルに軽合金の使用。
- ④ オフロード、モトクロス、トライアルタイヤの使用。

(23) タイヤ

タイヤ規制なし（使用限度を超えているタイヤ使用 NG）

(24) 危険防止

危険および迷惑をおよぼすような改造をしてはならない。

公式車検において危険と判定された車両は出走できない。